



Electronics for the Future

ロームのご紹介

ローム株式会社

2026年4月1日

企業目的

われわれは、つねに品質を第一とする。
いかなる困難があろうとも、良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、
文化の進歩向上に貢献することを目的とする。

ステートメント

Electronics for the Future

ロームは、エレクトロニクスの技術で、社会が抱える様々な課題を解決し、
未来に向けて、人々の豊かな暮らしと、社会の発展を支え続けていきます。

経営ビジョン

パワーとアナログにフォーカスし、お客様の“省エネ”・“小型化”に寄与することで、
社会課題を解決する。

会社概要



会社情報

設立年月日	1958年9月17日
資本金	86,969百万円（2026年3月31日現在）
代表者	代表取締役社長 東 克己
売上高	481,148百万円（2026年3月31日現在）
従業員数	21,756人
グループ会社	国内:4社 海外:28社
世界の拠点	海外拠点:73ヶ所 国内拠点:24ヶ所

製品

LSI	アナログ、ロジック、メモリ
半導体素子	トランジスタ、ダイオード、パワーデバイス、 発光ダイオード、半導体レーザー
モジュール	プリントヘッド、オプティカル・モジュール
その他	抵抗器など



挑戦と技術革新を重ね成長してきた軌跡

1950年代



**民生機器メーカーの
需要拡大**

- ・トランジスタラジオ
- ・カラーTV

ラジオの部品づくりへの挑戦

1954 世界初、小型抵抗器
実用新案取得

1960～1970年代



**世界的な
IC需要の高まり**

- ・ポータブルカセットオーディオ
- ・VTR

IC時代の到来に立ち向かう：
半導体への挑戦

1967 トランジスタ、ダイオード
販売開始

1969 ICの開発開始

1971 日本企業初、
シリコンバレー進出

1980～1990年代



**社会的な
デジタル化の推進**

- ・デジタルカメラ
- ・DVD
- ・パソコン
- ・携帯電話

「カスタムICのローム」として
デジタル機器の技術革新に貢献

1982 デジタルトランジスタ
販売開始

1985 マイコン、ゲートアレイ、
商品化

2000年代



**エレクトロニクス
市場のグローバル化**

- ・液晶テレビ
- ・カーナビゲーション

研究開発の拡大、
M&Aの積極化

2007 世界最小・最薄、
チップLED開発

2010年代



**省エネ化・電動化の
ニーズの高まり**

- ・スマートフォン
- ・タブレットPC
- ・ハイブリッドカー

ポートフォリオの変革：
自動車・産業機器市場向けの
開発強化

2010 世界初、SiC MSFET
量産開始

2013 高電力・超低抵抗シャント
抵抗器量産開始

2015 世界初、トレンチ構造採用
SiC-MOSFET量産開始

2020年代～



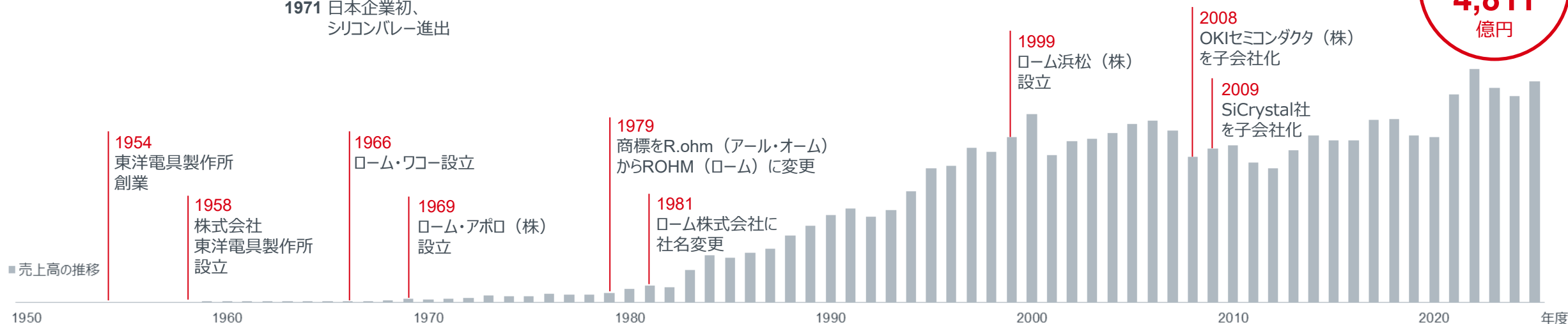
**脱炭素・循環型
社会への潮流**

- ・電動車（xEV）
- ・充電ステーション

省エネ・小型化に寄与する商品で
環境負荷低減に貢献

2020 第4世代SiC-MOSFET
開発

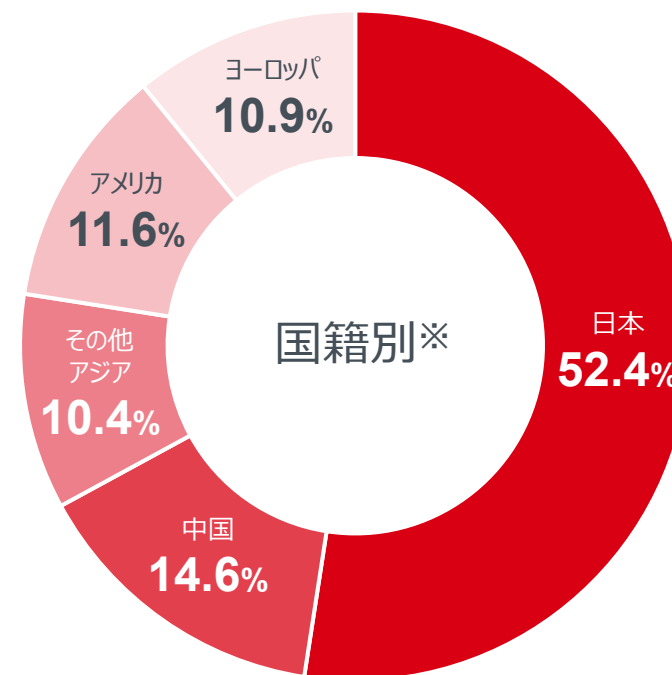
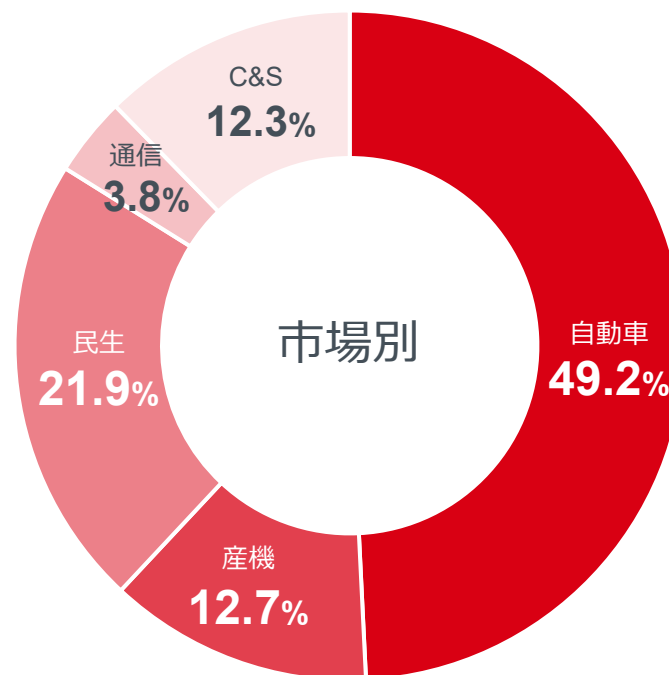
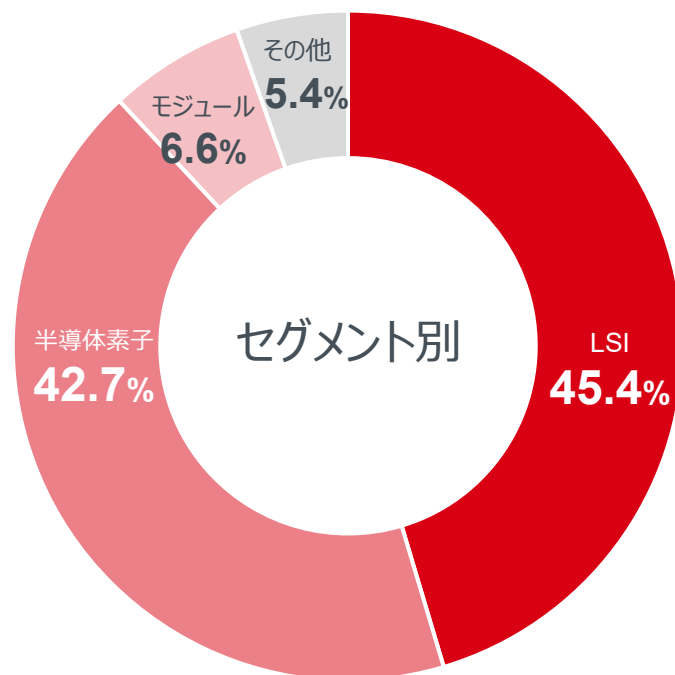
2022 東証プライム市場に移行



半導体をメインに、品質要求の高い車載分野で実績

売上高

481,148百万円

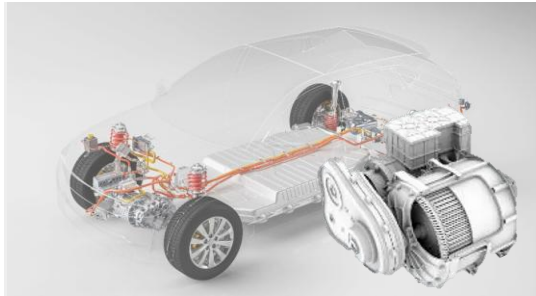


※取引先企業の国籍別

(2026年3月31日現在)

重点分野へ重要製品を集中開発し、市場価値を高めるソリューションを提供

車載市場



xEV インバータ



xEV OBC+DC-DC



ADAS / 自動運転



E/Eアーキテクチャ / ゾーンECU

民生・通信・C&S市場



AIサーバ / データセンター



スマート家電

産機市場



FA / ロボティクス



エネルギー

*FA: Factory Automation, OBC: On Board Charger, ADAS: Advanced Driver Assistance System, E/Eアーキテクチャ: Electrical/Electronicアーキテクチャ, ECU: Electronic Control Unit, C&S: Computer & Storage

ロームがフォーカスするテクノロジー

パワー×アナログの融合で、包括的なソリューションを提案

Power Technology

EcoSiC

EcoGaN

EcoMOS

- 業界トップクラスの低損失化
- 業界トップ水準の高信頼性
- 高耐久・小信号から高耐久までフルラインナップ



Analog Technology

電源制御IC

Nano
Nano Pulse Control

Nano
Nano Cap

- 業界トップクラスの高周波技術
- 超低消費電流技術
- 超安定制御技術

周辺デバイス

電源ICのパフォーマンスを最大限に引き出すドライバIC

アンプ・抵抗器など



システム全体の省エネ化

デバイス間のすり合わせによる評価・開発工数の劇的な削減



小型化・省スペース・複合化

周辺部品の削減と高密度実装によるシステムフットプリントの最小化

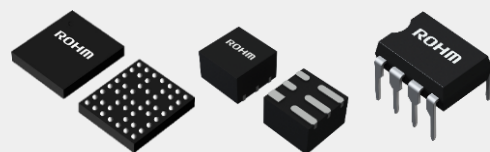


ノイズ・熱対策の最適化

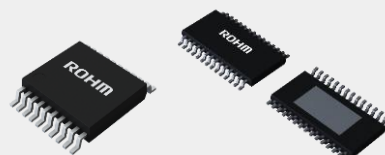
最高効率デバイスの組み合わせによる、極限の電力損失低減

蓄積された技術とノウハウで、お客様への総合提案を可能に

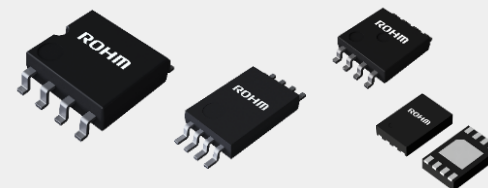
パワーマネジメント／電源IC



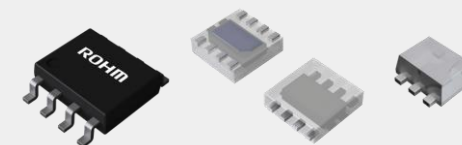
モータ／アクチュエータドライバIC



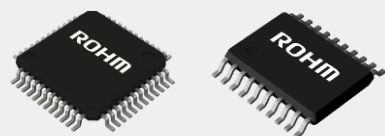
汎用IC



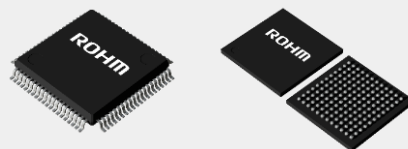
センサIC



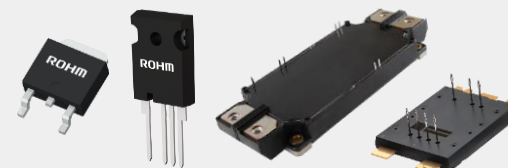
マイクロコントローラ



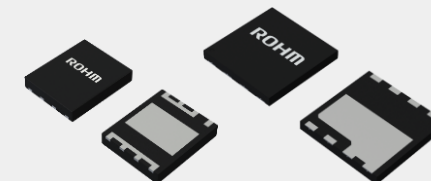
画像LSI



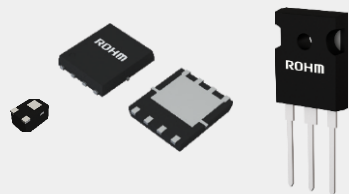
SiC パワーデバイス



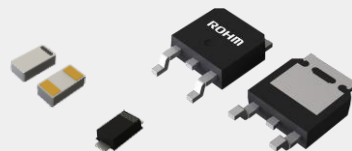
GaN パワーデバイス



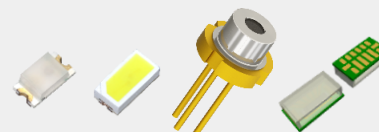
トランジスタ



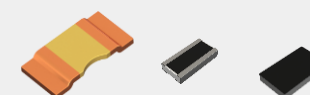
ダイオード



LED／半導体レーザー



抵抗器



サーマルプリントヘッド



主な生産拠点における各セグメントとの関連

主に、前工程（ウェハ・デバイス製造）は日本国内拠点、後工程（組立・検査）は、日本をマザー工場に海外拠点が担う

前工程（ウェハ・デバイス製造）

本社（京都）

IC
センサ
SiC
トランジスタ
LED
半導体レーザー

滋賀

トランジスタ
ダイオード
IGBT

ローム・デバイス マニュファクチャリング株式会社

笠岡（岡山）

IC
ダイオード

浜松（静岡）

IC
LED
GaN

筑後（福岡）

IC
ダイオード
トランジスタ
SiC

ラピスセミコンダクタ株式会社

宮崎（宮崎）

IC
センサ
ダイオード
SiC
IGBT

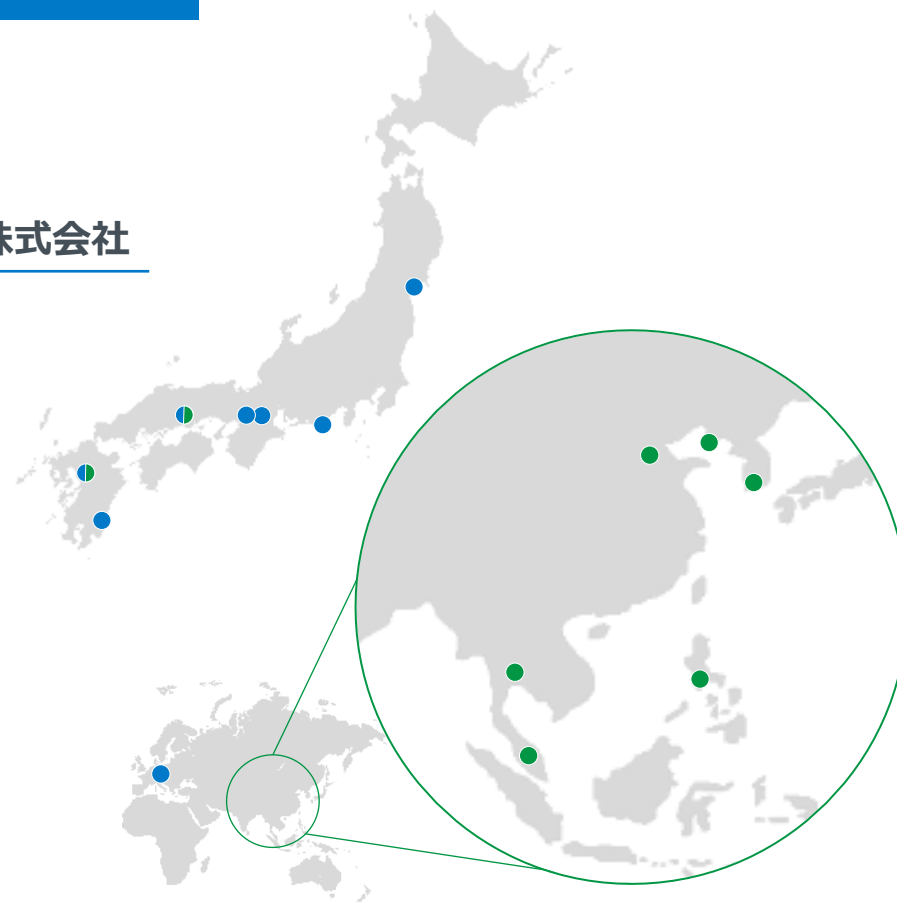
宮城（大衡）

IC

宮崎第二（国富）

SiC

SiCrystal GmbH（ドイツ）※ウェハ製造



後工程（組立・検査） マザー工場

ローム・アッセンブリ マニュファクチャリング株式会社

笠岡（岡山）

ダイオード
半導体レーザー
LED

広川（福岡）

センサ
ダイオード
トランジスタ
プリントヘッド

行橋（福岡）

IC



アジアに展開

後工程（組立・検査）

タイ

IC
トランジスタ
ダイオード
SiC
IGBT
IPM
光センサ
抵抗器
ワイヤレスモジュール

韓国

トランジスタ
ダイオード
SiC
IGBT

マレーシア

トランジスタ
ダイオード
LED
IC

大連

プリントヘッド

フィリピン

IC
トランジスタ
ダイオード
センサ
プリントヘッド
抵抗器

天津

ダイオード
LED
光センサ
半導体レーザー
LEDディスプレイ

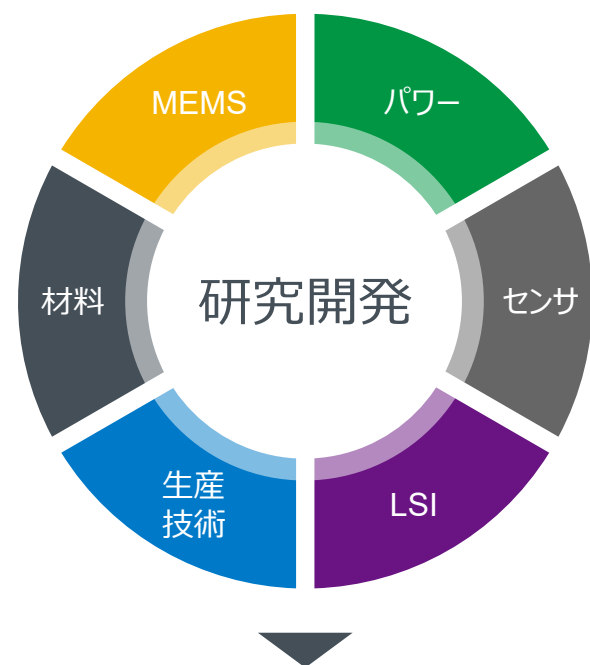
- 営業拠点
- 開発拠点
- QAセンター



未来を見据えた基礎研究と新技術への挑戦

「良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給」するために、「未知への挑戦」を積極的に「楽しみ」、世界に先駆けた商品を創造する基礎研究に取り組んでいます

社会課題に即した研究開発



Electronics for the Future

社会実装の取り組み

通信

6Gなど
超高速通信

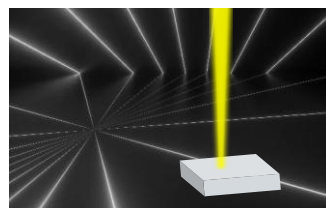


テラヘルツ波 発振・検出デバイス

新しい共鳴トンネルダイオードにより超小型・
低消費電力・低コストを実現
テラヘルツ波の実用化でセンシングや
通信など、さまざまな分野で社会を便利に

センシング

高精度センシング
低消費電力



PCSEL

レンズ不要で高指向性を実現する
次世代レーザー
LiDARの小型・低コスト・高精度化へ
デバイス性能の飛躍的向上に貢献

AI・先端ロボット

人工知能(AI)の応用
省エネルギー
高効率な電源システム



NoMaDbot™

脱SLAM、地図を使わずに自律走行を実現
マッピング不要で自律走行の初期投資、
メンテナンスコストを削減

※「NoMaDbot™」は、ローム株式会社の商標または登録商標です。



3つの重要テーマで2030年度中期環境目標を推進

2030年度 中期環境目標		2050年の目標
	気候変動	- 温室効果ガス排出量 2018年度比50.5%削減 - 再生可能エネルギー導入 推進（調達比率65%）
	資源循環	- 水の回収・再利用率を 2019年度比5.5%向上 - 国内海外連結で 廃棄物ゼロエミッション化
	自然共生	- 各拠点の緑化を促進、 地域固有生物の保全 - 規制物資に関する世界各国の 政策・規制への対応、 管理の徹底、使用量削減

温室効果ガス排出量実質ゼロ

「気候変動」対策を持続可能性の実効性を測る重要な指標とし、事業活動により発生する2050年度の温室効果ガス排出量実質“ゼロ”を目指します

ゼロエミッション

開発から調達・生産・販売までの一連の事業活動を通し、限りある資源の無駄をなくすため、資源循環の最大化に取り組みます

自然サイクルと事業活動の調和

地球の生物多様性が生み出す自然の恵みを大切に、地球環境をより良い状態で次世代に引き継いでいきます



音楽文化の発展と普及

1965

音楽文化支援のルーツ
「目で見える音楽史」を発刊

1991

ロームミュージック
ファンデーションの設立

1993

世界5大陸から音楽学生を招く
「京都・国際音楽学生フェスティバル」開始

2016

「ロームシアター京都」50年の命名権取得
「ローム ミュージック フェスティバル」開始

ミュージックファンデーションの活動

事業費総額

1991年設立時より

205億円 以上

ローム
ミュージックフレンズ

計 **5,121** 名

奨学生	574 名
京都・国際音楽 学生フェスティバル 参加学生	世界19カ国 2,734 名

将来世代への教育



未来のエンジニア支援

研究公募、ロボコンへの協賛、学校への訪問授業の実施
NHK学生ロボコン/ABUロボコン（2013年～）、
高専ロボコン（2015年～）



産学連携

ローム記念館設立
（立命館大学、同志社大学、
京都大学、清華大学（中国））

同志社ローム記念館



Electronics for the Future